

# 積善

題字 第241世天台座主 玄深師(惠亮院藏)

## 餘慶寺だより

編集・発行 上寺山餘慶寺  
〒701-4232 岡山県瀬戸内市邑久町北島 1187  
納経所 TEL 086-942-0186 FAX 086-942-0187  
惠亮院 TEL/FAX 086-942-3788  
本乗院 TEL 086-942-2791 FAX 086-239-5823  
吉祥院 TEL/FAX 086-942-3789  
定光院 TEL 086-942-2356 FAX 086-944-1490  
明王院 TEL 086-943-1030 FAX 086-943-1069  
圓乗院 TEL 086-942-2356  
ホームページアドレス <https://yokeiji.or.jp/>

比叡山からのお言葉

### 「繫紡心」

心が繫がり紡ぐ道が照らされ、  
相思う時代が訪れる

人を思いやる心と、感謝の心が人と人を繋ぎ、争いのない平和な未来が紡がれていきます。

「ありがとう」の心を日々忘れずに過ごしましょう。

令和七年(二〇二五年)元旦  
比叡山延暦寺



## 春の餘慶寺お彼岸法要の案内

三月二十日(木・祝)の十時より、春のお彼岸法要が餘慶寺本堂において行われます。

お彼岸法要で供養をご希望される方は、別紙「お彼岸法要のご案内」をご覧ください、振り込み、もしくは上寺山各院、餘慶寺会館納経所へお申込みください。

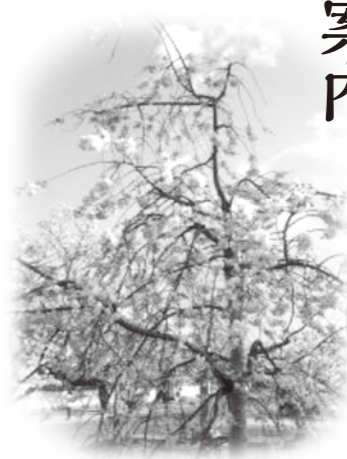
### 桜まつりのご案内

四月一日(火)より八日(火)にかけて「桜まつり」を餘慶寺境内において開催いたします。

期間中、薬師堂では秘仏薬師如来(国指定重要文化財)、聖観世音菩薩(国指定重要文化財)、十一面観世音菩薩(県指定重要文化財)などの特別公開や護摩祈禱、本堂では花御堂の釈迦誕生仏へ甘茶を漉いでいただけるようご用意しています。また、境内では例年好評をいただいております寺庭婦人による「さくらカフェ」を行います。

特に四月八日(火)はお釈迦さまのお誕生日ですので、春の上寺山へ、是非ともお参りください。

※桜まつり期間中には他にもイベントを開催予定ですので、来山の際は一度餘慶寺HPをぜひご確認ください。



毎月第二日曜日午後二時より釈迦堂にて納骨堂説明会を行っています。

よけいじ寺子屋だより 会場：餘慶寺会館(十四時)

寺子屋写真館



### 今後の予定

☆七福神のはなし  
二月十一日(火・祝)  
講師 吉祥院住職 大石恵海師

☆西遊記と三蔵法師  
三月二十三日(日)  
講師 本乗院住職 小林周伸師

☆御朱印と納経  
四月十九日(土)  
講師 明王院住職 岡本昌幸師

詳しくは餘慶寺HPをご覧ください。



※どなたでも聴講可能です。  
(無料)  
お誘い合わせのうえ、ご参加ください。



### 編集後記

二〇二五年も残り十一ヶ月を切りました、なんてことを言っている編集の祐聖です。

暦をみると今年の節分は二月二日らしくなんでもうと思いついてみると地球の公転周期が三六五日びつたりではないからとのことでした。

餘慶寺では節分の行事はありませんが、我が家では娘に豆を投げられる私(住職)でした。

これから二〇二五年の桜や暑さ、寒さ、様々な季節や行事が楽しめると思うとワクワクしますね。

合掌

### 上寺山餘慶寺 三重塔カラーライトアップ

## 彩照

のお知らせ

上寺山餘慶寺では毎月十七日の夜に三重塔のカラーライトアップ「彩照」を行います。

その月ごとの色で三重塔を彩り、お参りに来られた方の心も彩り照らします。ぜひ公式HPのチェックとInstagramのフォローを宜しくお願致します。

【期間】令和七年一月より毎月十七日  
【時間】夕方頃(二十一時頃)  
(※天候や季節により時間が多少前後します)  
【場所】上寺山餘慶寺  
【拝観料】無料



### 餘慶寺からのお知らせ

薬師縁日(於 薬師堂)  
毎月8日 午前10時~  
護摩祈禱をしています。  
ご祈禱のお申し込みは随時納経所で受け付けています。

観音縁日(於 本堂)

毎月18日 午前8時~  
みんなで観音経をあげます。お経本は本堂にありますので、お気軽にお詣りください。

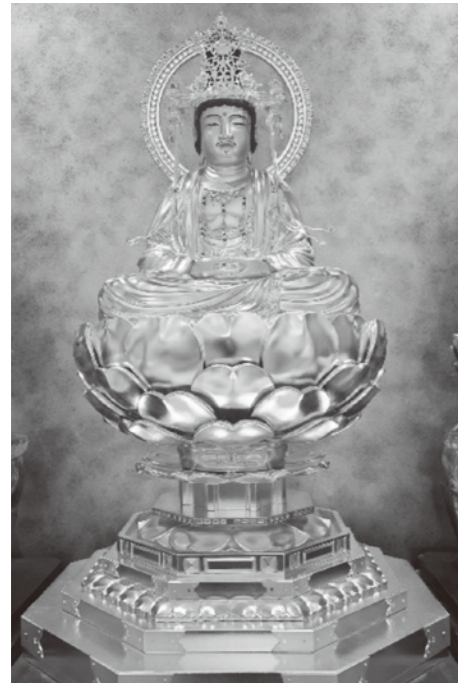


ホームページとInstagramのご案内  
公式ホームページ  
公式Instagram



薬師護摩祈禱 護摩木三百円 木札授与三千円/五千円





**「釈迦如来」**  
 餘慶寺会館の南、釈迦堂（納骨堂）のご本尊様が釈迦如来です。お釈迦さまは、紀元前五四三年にインドのシャッキヤ国の王子さまとしてお生まれになりました。母（マヤー夫人）の右脇から生まれて、すぐに七歩歩いて右手を上、そして左手を下にして「天上天下唯我独尊」と述べたという話は有名です。お釈迦さまは、不自由な生活をしていましたが、病気で苦しむ人、年老いて心身が弱っていく老人、そして葬儀の列をみて死の悲しみを感じ悩んだ後、二十九歳で出家し六年間の苦行の後、悟りを開かれ「釈迦如来」になりました。釈迦堂には御本尊様として、釈迦如来と脇侍（文殊菩薩・普賢菩薩）の釈迦三尊をお祀りしています。釈迦堂にお参りの際は、ご先祖様と併せて釈迦三尊に御参拝下さい。

**餘慶寺見どころ**  
**「釈迦如来」**



春を見つげに上寺へお参りしましょう。

**一口法話 「よりそう」**

ついこの間、お正月を迎えたと思ったら、早いもので節分も過ぎ、暦のうえでは春になりました。一月は去ぬ、二月は逃げ、三月は去ると言いますが、本当にあつという間です。年齢を重ねるうちに、時がたつのが早く感じられるようになりました。自分なりになぜかと考えますと、例えば五歳の時の一年は人生の五分の一ですが、六十歳を迎えた時の一年は人生の六十分の一なので、割合としては小さくなりますし、感覚としてもあつという間です。この一年で何があるか見当がつくので、早く感じられるのではないかと思うのです。以前観たテレビ番組では、「トキメキ」が無くなったから、と言っていました。何が起きるがわからないドキドキやワクワクは確かに少なくなつたと感じます。むしろ、将来についていろいろな予想が、特に良くない予想ができてしまうと、一年先どころか、一ヶ月先は、一週間先は、明日はどうなっているだろうかと不安になつてしまします。厄年には、厄除け祈禱をうける方が多いと思いますが、本当によくしたもので、この厄年前後には何か節目があるようです。自分も還暦を迎え、腰や膝の痛みなど体のあちこちに不調を感じるようになってきました。家族も高齢になり生活も変わってきました。自分の健康、家族の健康、将来の生活、不安や悩みは人それぞれで、完全に理解することは難しいかもしれません。しかし、寄り添うことはできるのです。一月十七日におこなわれた阪神淡路大震災追悼のつどいでは「よりそう」という文字が灯籠で浮かび上がっていました。あなたのことを忘れてはいません、という優しいことばです。自分ひとりができることは限られているかもしれませんが、少しでも人の心に寄り添うことが大切ではないでしょうか。

期間限定の「さくらカフェ」実施予定、詳しくはHPをご覧ください。

**第二十五回 上寺山両詣り**

**ライトアップの報告**

昨年大晦日から一月三日にかけて餘慶寺と豊原北島神社にて恒例の「両詣り」が行われました。

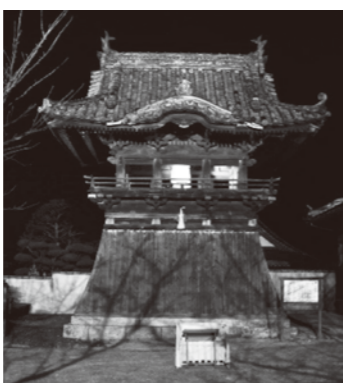
大勢の参拝者様が行く年に感謝をし来る年のご多幸を祈念しに上寺山にこられました。早いものでこのライトアップも二十五回目、四半世紀となりました。

お寺やお宮の長い歴史の中でほんの少しの二十五年かもしれませんが上寺山餘慶寺、豊原北島神社の檀信徒様や地域の方々、沢山の皆様方のお力によって紡いできた二十五回目のライトアップでした。

様々な事でも変わりゆく世情ではございますが、いつでも皆様と共に行く年来る年を照らしていけるようこれからも精進してまいります。 合掌



今年一年お世話になったお札等をお焚き上げしました。



除夜の鐘を撞くと先着108名には“鐘撞の証”をお授けいたします。



楊の枝でお清めを行う“楊濯頂”



業師堂では新年の護摩祈禱がありました。



豊原北島神社様との両詣り



お正月マルシェも大盛況でした